

研究課題名 (研究番号)	保険薬局薬剤師の薬学的介入ががん薬物療法に与える影響の調査（2025-035）
研究責任者 (所属)	宮田 広樹（日本調剤株式会社教育情報部）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	がん薬物療法を受けている患者さまへの服薬指導や電話によるフォローアップで得た情報を 基に、副作用の軽減などを目的に処方変更を行った事例を調査し、薬剤師の介入と患者 さまの利益の関連について明らかにします。
調査データ 該当期間	2023 年 7 月～2025 年 3 月までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま がん薬物療法を受けていて、日本調剤の各薬局で服薬指導や電話での症状フォロー アップを受けた方 ●利用する情報 患者基本情報：年齢、性別、がん種、等 治療情報：治療内容、生じた副作用とその重症度、疼痛スコア、等 介入情報：提案内容、提案後の副作用重症度、等
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や生年月日等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致し ます。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる 個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	日本調剤株式会社 ホームページお問い合わせフォーム https://www.nicho.co.jp/inquiry/
備考	研究期間： 2025 年 6 月 30 日まで